

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	新住協関西支部			
H30採択グループ番号	07	—	0510	— 0533

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	新住協関西支部としてもっとも力を入れたのは良質な住宅の普及を望む住まい手と住宅供給に携わる研究者や技術者が協働して、各種木造工法住宅の技術研究に取り組み、誰でもが良質で安価な住宅が建てられる。その為に構成員は研修会を通じて技術の向上を目指しました
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/21	名称	グリーン化説明会	●
	内容	グループのH30年の取組内容、方向性、仕様等の説明をしました。研修会、現場見学会の計画等の流れの説明をして、質疑応答で終了しました					
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/02/10	名称	構造見学会	●
	内容	構造見学会を通じて各構成員のお客さんに地域材の良さや、省エネルギー住宅の大切さを伝えました。					
	消費者説明会 2		開催日		名称		
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/04/03	名称	新住協関西支部定例勉強会「気密性能について」	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/08/06	名称	新住協関西支部定例勉強会「私の高断熱住宅」	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有	
	内容	事務局内に申請、書類整理等のバックアップ体制を構築しています。グリーン化住宅と普通の住宅の性能の違いや良さを説明してサポートをしています	
取組み ②	サポートの有無 2	有	
	内容	2ヶ月に一度の省エネルギー住宅の研修会を定期的開催しています。構造見学会、完成見学会を通じて施工技術の向上も目指し未経験工務店が地域材の使い方、省エネルギー住宅が出来るように指導をしています	
取組み ③	サポートの有無 3		
	内容		

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	3	発行予定	6
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	住宅履歴情報サービス機関	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	事業廃業時はグループ内の事業者を事務局が紹介をして、その後のアフターを管理していくようになっています	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	2ヶ月に一度の定例勉強会を通じて省エネルギー住宅の設計、施工の要諦を説明しています。その他にも消費者に向けての普及活動の仕方もこの勉強会でしています。構造見学会等では実際の断熱材の施工方法や気密を取る場所の要諦の説明も同時にしています	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	3 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	新住協関西支部				
H30採択グループ番号	07	—	0510	—	0533

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/08/06	名称	グリーン化説明会		
	内容	H31年度の共通ルールやH30年度の違いを説明します。勉強会、構造見学会、完成見学会の計画を打合せを行う予定です						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/07/28	名称	完成見学会		
	内容	各構成員のお客様にグリーン化住宅の完成見学会を行う						
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/08/25	名称	高断熱住宅「夏のすずしさ体感」		
内容	各構成員が夏場に完成見学会、モデルハウスを通じて省エネルギー住宅の夏の涼しさを体感してもらいイベントを一斉に開催します							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/08/06	名称	新住協関西支部定例勉強会「関西で丁度いい高断熱住宅を	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/08/18	名称	構造見学会	タイプ	見学会
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有						
	内容	未経験工務店には申請、提案の仕方を事務局がサポートしていきます。消費者に対してのアピールの仕方も同時に行います						
取組み ②	サポートの有無 2	有						
	内容	2ヶ月に一度の定例勉強会により設計、施工技術の指導を行います。構造見学会等では未経験工務店さんは現場監督、大工さん等の直接施工される方も交えて事務局が中心になって指導をする予定です						
取組み ③	サポートの有無 3	有						
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	住宅履歴情報サービス機関
------------	----------	-----	--------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	事業廃業時はグループ内の事業者を事務局が紹介をして、その後のアフターを管理していくようにします						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	2ヶ月に一度の定例勉強会で設計、施工技術を向上させます。その他にも今年度は構造見学会を複数回の予定をしています。消費者向けには完成見学会等により普及活動を予定します。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	2ヶ月に一度の定例勉強会で設計、施工技術を向上させます。その他にも現場で施工を実際に見て改修ならではの設計、施工技術の向上を取組みます。消費者向けには完成見学会等により普及活動を予定します。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/10/08				
内容	省エネ改修型に関する内容が公開された後に事業者を対象に研修会を実施します。省エネ改修の実績のある事業者が省エネ改修の設計、施工方法を指導、公開していきます						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	新住協関西支部				
H30採択グループ番号	07	—	0510	—	0533

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	<p>新住協関西支部は特定の営利団体からは独立した開かれた民間の技術開発団体です。これまで、全国の工務店、設計事務所、建材メーカー、建材販売店、大学や公共の研究機関が参加し、住まいづくりの実践現場と研究機関とが係わり、生きた情報を交換し合うことで、革命的な住宅技術をしました。そして、その技術を独り占めすることなく、お互いにわかちあうことで、より安価で高品質な汎用技術へと目指し活動をしています</p> <p>具体的には2012年より2ヶ月に一度設計、施工技術の研修会を開催しています。参加者は設計事務所、工務店が中心ですが関西の高断熱住宅、省エネルギー住宅の技術向上と普及活動を目指しています</p>
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明						
主要構造材	土台	有	主要構造材は地域材で50%以上使うようにします				
	柱	有					
	梁・桁等の横架材等	有					
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有					
造作材	枠材、廻縁等	有					
板材	壁板、床板等	有					

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	グループ内での地域材の情報交換をしてみんなで共有する	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	グループ内での地域材の情報交換をしてみんなで共有する	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	グループ内での地域材の情報交換をしてみんなで共有する	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	省エネルギー施工に関しては新住協関西支部で一定水準以上の施工基準を用いて施工をします	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	維持管理計画書を作成して、内容説明を行い、事務局に提出します	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	省エネルギー住宅の施工を担保する為にグループ内の住宅は全棟気密検査を義務付け、気密検査報告書は事務局に提出する。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	大項目の(諸経費、運搬費以外)一式見積もりを禁止し、50万円以上は単価計算をする	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	特になし	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	各社週休2日、若しくは隔週で2日を採用してる
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	キャリアアップに関して各社が検討をして幹部社員同士で勉強会を予定しています
③ 社会保険への加入	有	内容	法人の会社は基本的に全社加入です
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	安全講習に関して勉強会を予定しています

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	新住協関西支部				
H30採択グループ番号	07	—	0510	—	0533

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	1個住宅に関して畳を一箇所は提案をする
② 和瓦の活用	有	内容	昨年の台風被害および大阪では和瓦の需要が増えて瓦職人不足が慢性化しています。なるべく和瓦を勧める努力目標とする
③ 襖・障子の活用	有	内容	デザインとしてうまく障子を活用して省エネ性、デザイン共に向上を狙う
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	地域の伝統的な素材として吉野、紀州、熊野地方の木を積極的に採用をしていく

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	関西の気候風土にあった家として軒、庇のある家を推進して設計、施工者共に2ヶ月に一度の勉強会で伝統的なデザインについても勉強をしていく予定です
② 地域の住まい方の継承	有	内容	住生活に関して勉強会を開催して各社が相談の窓口になります
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	2ヶ月に一度の勉強会の中で街並みについても勉強していきます。プランニング時に外構も含めたプランを作り、資金計画では外構の費用も含めるようにします

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	<p>昨年は大阪北部地震、台風被害等がありまだ一部では被災の影響が出ています。グループ内の人、物資源を活発に活用して横のつながりで連携を図る検討をしています</p>